

2023年3月期

決算補足説明資料

2023年5月11日

証券コード:3741



2023年3月期

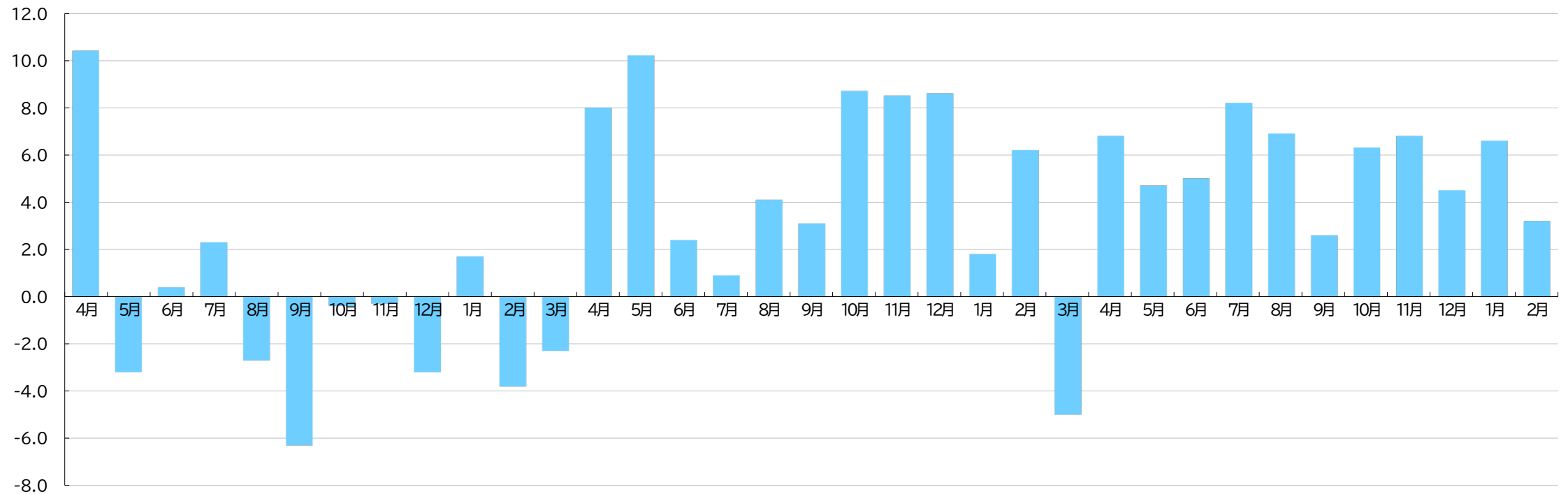
決算概要

事業環境

2023年3月期の事業環境

情報サービス業売上高前年同月比推移(経済産業省:特定サービス産業動態統計)

(単位:%)



2022年4月以降の月別売上高は前年同月比で増加しており、IT需要は全体的には概ね堅調と推察される。

2023年3月期総括

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高、 前年同期比で増収増益

	当期（百万円）	前期比	利益率
売上高	7,488	+14.2%	
営業利益	1,215	+14.4%	16.2%
経常利益	1,278	+15.5%	17.1%
当期純利益	878	+12.6%	

受注高、受注残高ともに過去最高

	当期（百万円）	前期比
受注高	8,053	+12.0%
受注残高	3,762	+17.7%

先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す

XR(クロスリアリティ)関連やスマートコンストラクション関連の開発が大幅に増加したことに加え、官公庁向けの開発も増加するなど、需要構造の変化に全BF最適化の視点で対応した。

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高となり、増収増益となった。

受注高は前期を上回り過去最高となり、受注残高も過去最高となった。

損益計算書

	2022年3月期 (百万円)	2023年3月期 (百万円)	前期比 (%)	修正予想(1月) (百万円)	計画達成率 (%)
売上高	6,560	7,488	114.2	7,300	102.6
売上原価	4,585	5,246	114.4	5,150	101.9
売上総利益	1,974	2,241	113.5	2,150	104.3
販売管理費	912	1,026	112.5	970	105.8
営業利益 (営業利益率)	1,062 (16.2%)	1,215 (16.2%)	114.4	1,180 (16.2%)	103.0
経常利益 (経常利益率)	1,107 (16.9%)	1,278 (17.1%)	115.5	1,240 (17.0%)	103.1
当期純利益	780	878	112.6	860	102.2

売上原価 外注費が大幅に増加（外注費 23.5億円、前期比20.0%増／売上高外注比率31.4%、前期29.9%）、社員数の増加などにより人件費が増加

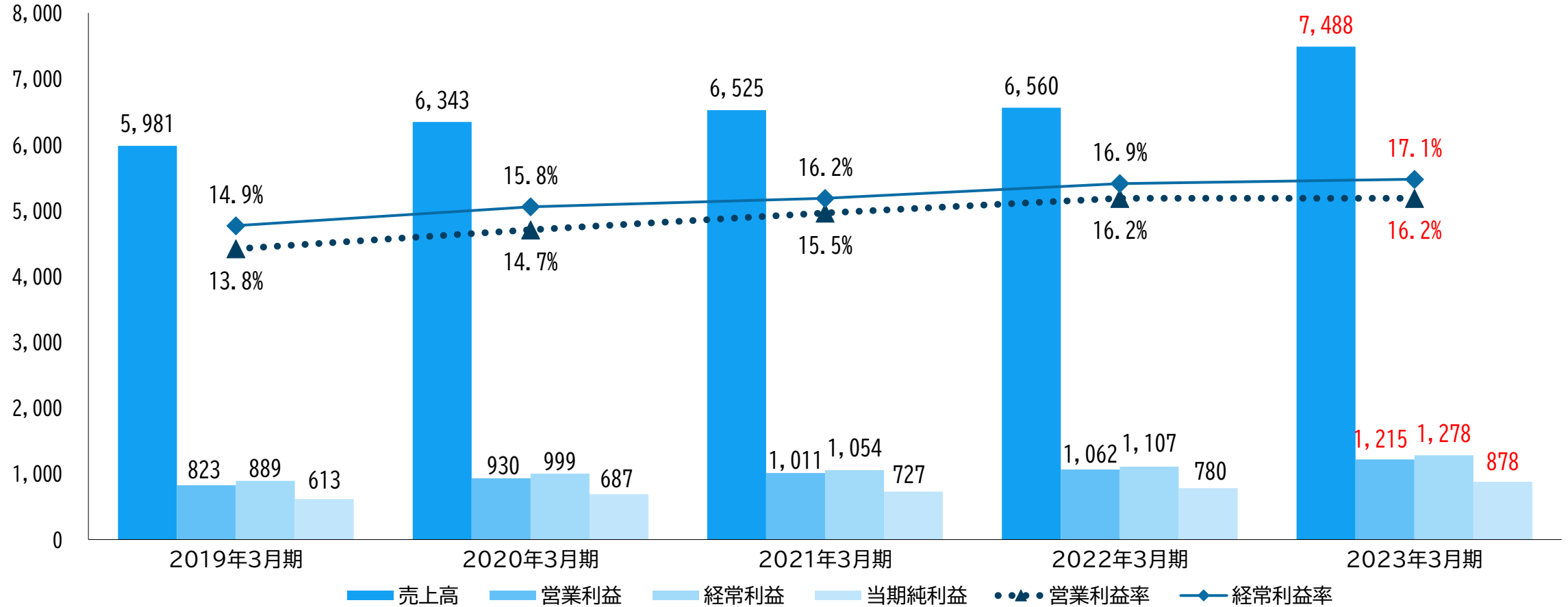
販売管理費 オフィス増床により家賃が大幅に増加、知名度向上のためのIR・PR強化により手数料が大幅に増加
研究開発費は66百万円で、前期比で23.7%増

営業外損益 研究開発の補助金収入が発生、受取出向料が大幅に増加

決算業績推移(過去5年)

6期連続の増収増益で、売上高、利益ともに過去最高

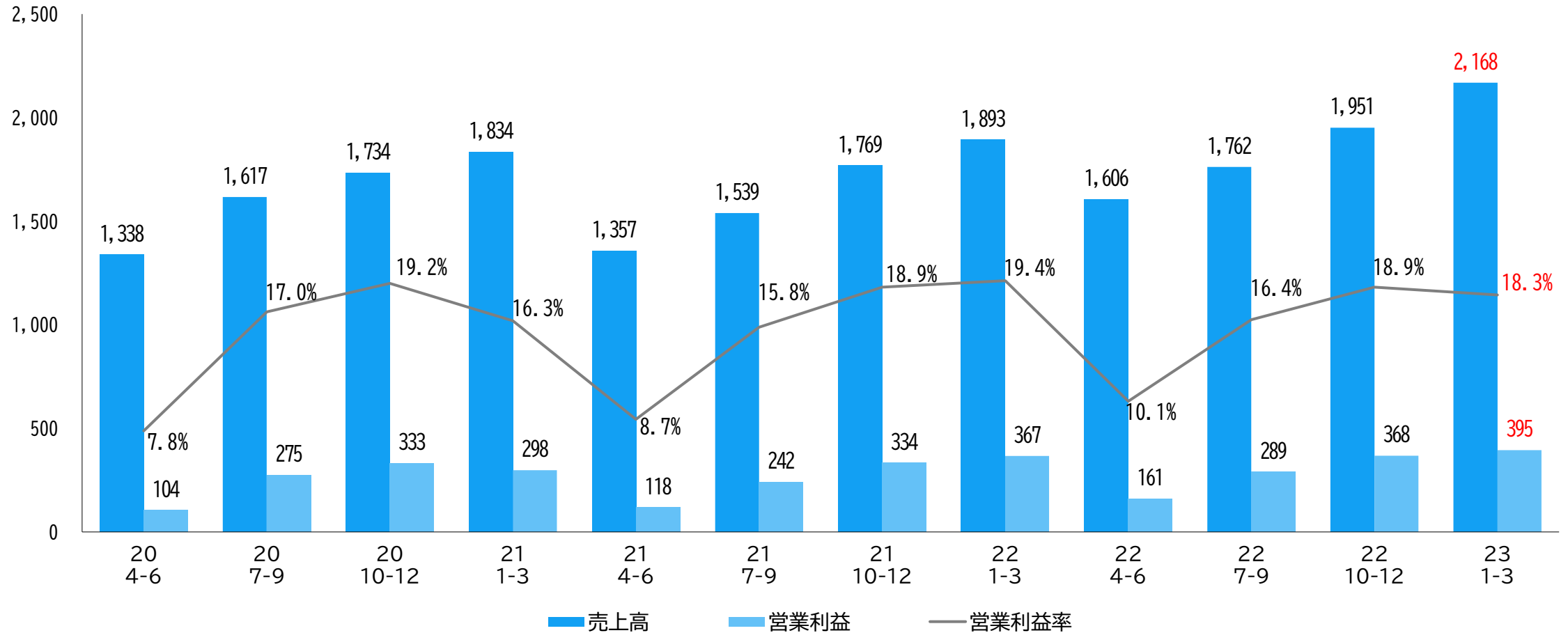
(単位:百万円)



四半期業績推移(PL)

前年度第3四半期から、6四半期連続の増収増益

(単位:百万円)

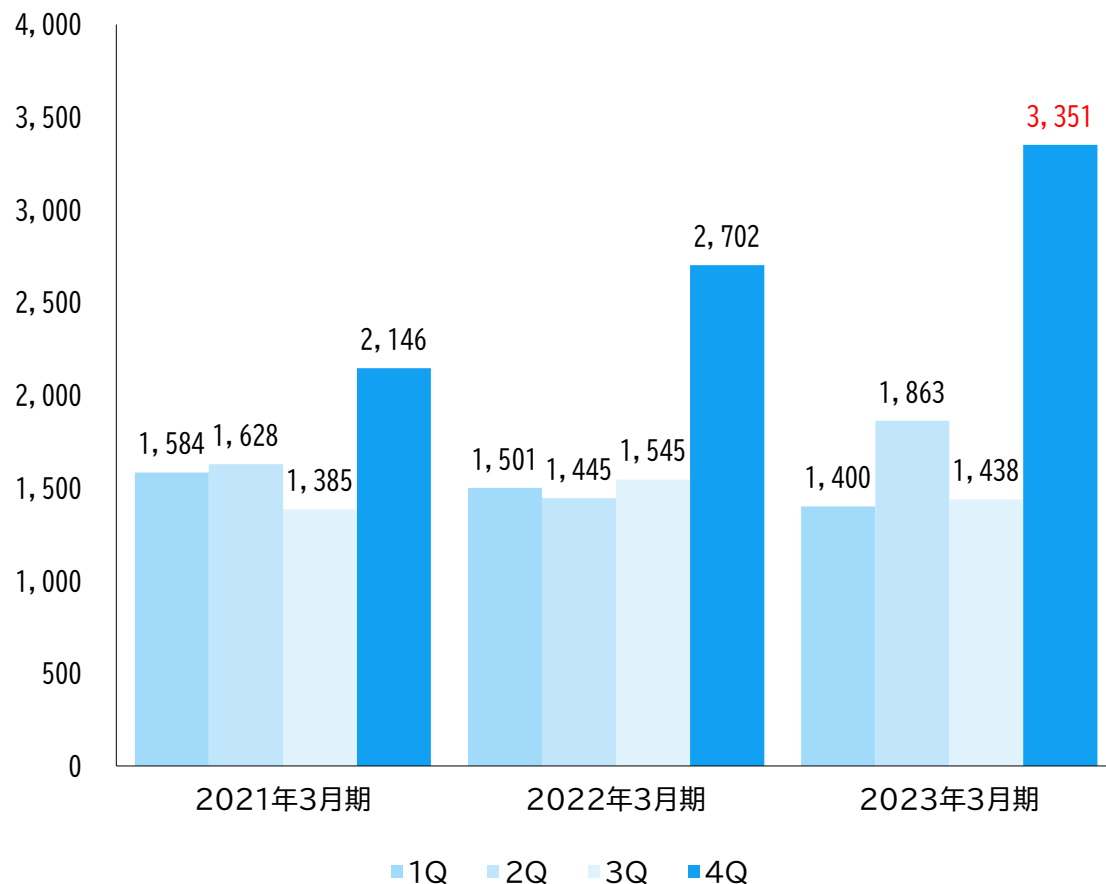


四半期業績推移(受注状況)

受注高は第4四半期で過去最高、受注残高は全ての四半期で過去最高

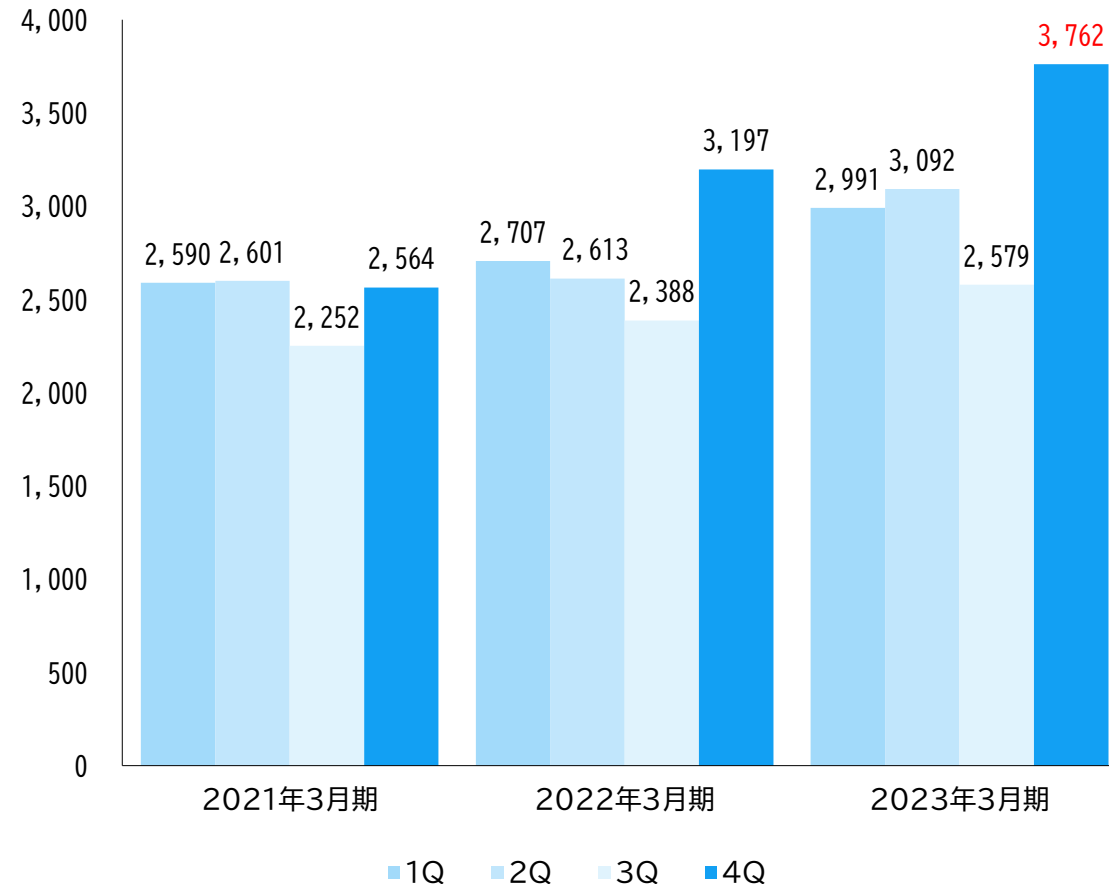
(単位:百万円)

受注高



(単位:百万円)

受注残高



BF別の状況

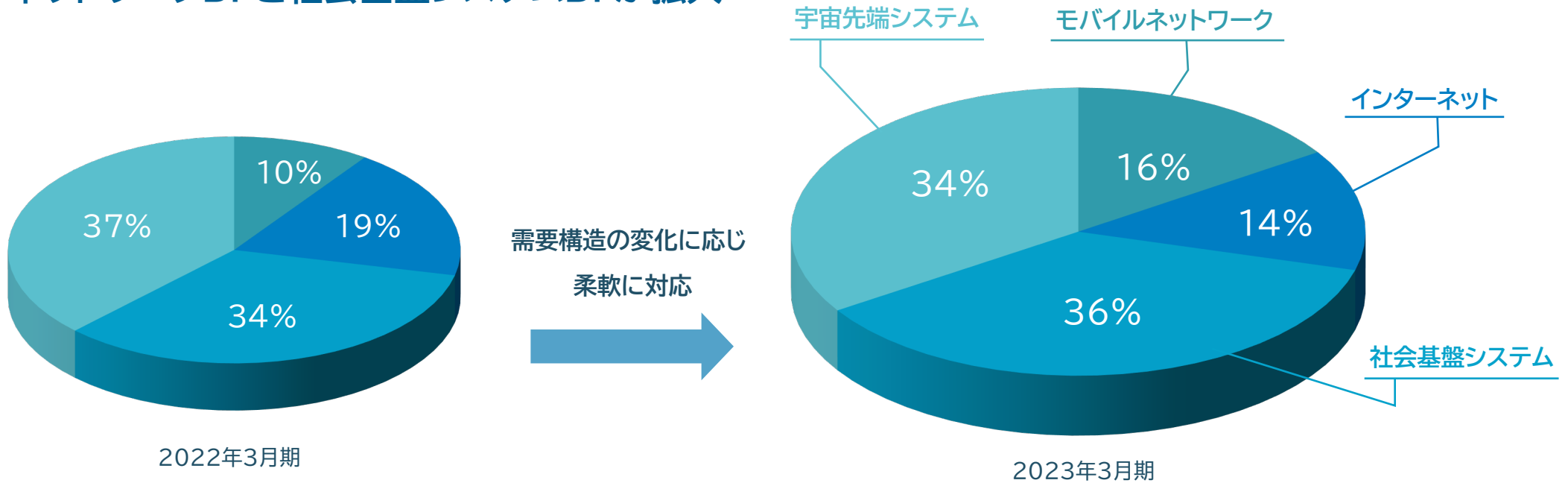
モバイルネットワークBF、社会基盤システムBFが大幅に増加

ビジネスフィールド	2022年3月期		2023年3月期		前期比 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	
モバイルネットワーク	641	9.8	1,173	15.7	182.8
インターネット	1,232	18.8	1,017	13.6	82.6
社会基盤システム	2,218	33.8	2,737	36.5	123.4
宇宙先端システム	2,467	37.6	2,560	34.2	103.8
合計	6,560	100.0	7,488	100.0	114.2

- モバイルネットワークBFは、XR(クロスリアリティ)関連やスマートコンストラクション関連の開発が大幅に増加
- インターネットBFは、非接触ICを利用した開発が大幅に増加したが、民間企業向けの大型案件の開発が終了
- 社会基盤システムBFは、環境分野や福祉・健康分野をはじめとした官公庁向けの開発が好調
- 宇宙先端システムBFは、車両自動走行の研究開発案件は計画変更により減少したが、サービスロボットや宇宙関連の開発が増加

BF別売上構成比

モバイルネットワークBFと社会基盤システムBFが拡大



モバイルネットワークBF ↑

XR(クロスリアリティ)関連やスマートコンストラクション関連の開発が大幅に増加

インターネットBF ↓

非接触ICを利用した開発が大幅に増加したが、民間企業向けの大型案件の開発が終了

社会基盤システムBF ↑

環境分野や福祉・健康分野をはじめとした官公庁向けの開発が好調

宇宙先端システムBF ↓

サービスロボットや宇宙関連の開発が増加し、BFの売上高は増加したが、全体構成比では減少

BF別受注状況

モバイルネットワークBF、社会基盤システムBFが大幅に増加

ビジネスフィールド	2022年3月期		2023年3月期			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	前期比 (%)	受注残高 (百万円)	前期比 (%)
モバイルネットワーク	728	246	1,213	166.6	285	116.1
インターネット	1,156	290	970	83.9	243	83.6
社会基盤システム	2,766	2,004	3,351	121.2	2,618	130.7
宇宙先端システム	2,543	656	2,519	99.0	615	93.7
合計	7,193	3,197	8,053	112.0	3,762	117.7

(受注残高のうち、今期の売上高に貢献するのは3,191百万円、前期(2,639百万円)と比較し20.9%の増加)

- モバイルネットワークBFは、XR(クロスリアリティ)関連やスマートコンストラクション関連の受注が大幅に増加
- インターネットBFは、前期の民間企業向けの大型案件終了による反動と社内資源の配分調整により受注が減少
- 社会基盤システムBFは、環境分野や福祉・健康分野をはじめとした官公庁案件が増加
- 宇宙先端システムBFは、宇宙関連の受注が増加したものの、車両自動走行の研究開発案件が計画変更により減少

2024年3月期

通期業績見通し

2024年3月期業績見通し

さらなる成長への投資を優先し、利益は微増の計画

	2023年3月期実績(百万円)	2024年3月期業績予想(百万円)	前期比(%)
売上高	7,488	7,750	103.5
売上原価	5,246	5,490	104.6
売上総利益	2,241	2,260	100.8
販売管理費	1,026	1,030	100.4
営業利益 (営業利益率)	1,215 (16.2%)	1,230 (15.9%)	101.2
経常利益 (経常利益率)	1,278 (17.1%)	1,290 (16.6%)	100.9
当期純利益	878	895	101.8

売上高 新型コロナウイルス感染症の影響が薄れていく「有事」から「平時」に変遷する時代にあたり、官公庁主体の社会基盤分野のビジネスを中心に推進し、前期比約4%増を見込む





売上原価 社員数増加や待遇向上による人件費の増加、外注費の増加などにより、増加を見込む

販売管理費 研究開発の増加などにより、微増を見込む

営業外損益 前期並みを見込む

2024年3月期BF別業績見通し

モバイルネットワークBF、社会基盤システムBFが増加する見込み

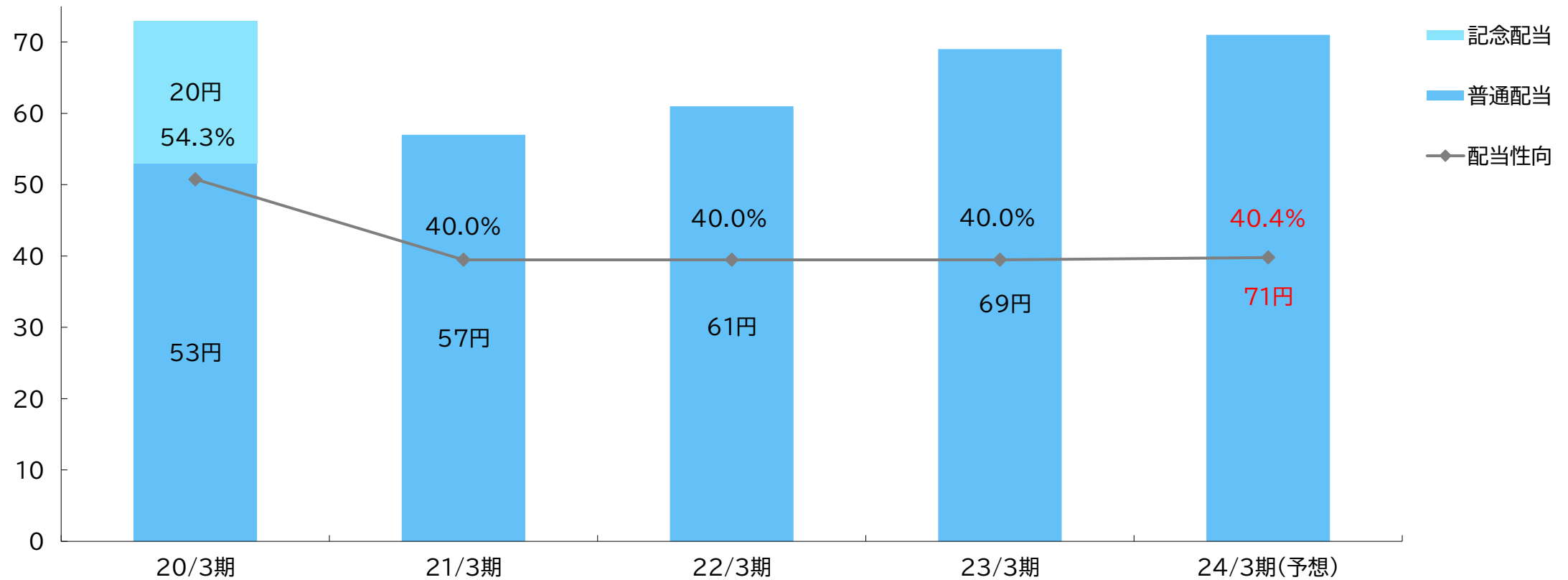
ビジネスフィールド	期初の想定	予想
モバイルネットワーク	XR(クロスリアリティ)関連の開発やスマートコンストラクション関連の開発が引き続き堅調で、増加	
インターネット	非接触ICを利用した開発は継続するが、他のBFとの人員配分の最適化により、減少	
社会基盤システム	環境分野を中心とした官公庁向けの開発が引き続き堅調で、増加	
宇宙先端システム	宇宙関連の開発は堅調だが、サービスロボット関連の大型開発案件の計画変動が予想されるため、微増	

配当の方針

配当性向40%を目安とし、前期比で每期増配の方針

2024年3月期は1株当たり71円の配当予想とする。

(単位:円)



ご参考: ニュースリリース一覧(2022年11月~2023年5月)

2022年		2月27日	<u>「アイアールmagazineオンライン」に当社社長インタビュー記事掲載</u>
11月 1日	一般社団法人 スマートシティ社会実装コンソーシアムに加盟	3月 6日	<u>日本オペレーションズ・リサーチ学会にて東京大学と共同で数理最適化問題に関する研究発表を実施</u>
11月30日	ストックボイス「東京マーケットワイド」(2022年11月30日放送)に代表取締役社長 櫻井が出演	3月 6日	<u>日本テクノセンター主催「ROSの基礎とロボットソフトウェア開発のポイント」の講師を担当</u>
12月 5日	<u>計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2022)にてMR技術とロボットアームの連係に関する論文発表</u>	3月15日	<u>NTTコノキューの遠隔作業支援ソリューション「NTT XR Real Support」の開発に協力</u>
12月17日	ラジオNIKKEI・プロネクサス共催「企業IR&個人投資家応援イベント in 東京」にて企業IRセミナーを開催	3月23日	<u>大阪事業所を移転 (移転日:2023年4月1日)</u>
2023年		3月30日	<u>世田谷区での若者の社会参加支援および就業支援活動のご報告</u>
1月16日	<u>ロボデックス(ロボット開発・活用展) 出展</u>	5月 1日	<u>週刊現代(5月1日発売号) 特集「これから世界で勝てる日本の企業「ベスト100」」に掲載</u>
1月18日	<u>日経CNBC「~攻めのIR~Market Breakthrough」(2023年1月18日放送)に代表取締役社長 櫻井が出演</u>	5月 8日	<u>量子コンピューティング EXPOにて研究成果を展示</u>
2月 9日	<u>法人向けeラーニングサービス「gacco for Biz」にDX人材育成講座を提供</u>	5月 8日	一般社団法人 クロスユー(宇宙ビジネス共創プラットフォーム)に加盟
2月18日	ラジオNIKKEI・プロネクサス共催「企業IR&個人投資家応援イベント in 名古屋」にて企業IRセミナーを開催	5月 9日	<u>「2023年度 第1期 世田谷ITカレッジ」を開講</u>
2月22日	ラジオNIKKEI「ザ・マネー」(2023年2月21日放送)に代表取締役社長 櫻井が出演		

- この資料の目的は、当社へのご理解を深めていただくためのIR情報をご提供することであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資につきましては、ご自身でご判断願います。
- この資料には、当社の現在の計画、戦略、将来の業績に関する見通しなどが記載されております。こうした記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、経営環境をはじめ、さまざまな外部的要因の影響等により変化しうることをご承知おきください。
- この資料の作成に際しましては、細心の注意を払っておりますが、内容につきましていかなる保証を行うものではなく、この資料を使用したことによって生じたあらゆる損害などについて、当社は一切責任を負うものではありません。